

話し合いに参加してくれた 農業者の皆様へ感謝を!

～地域に開かれた農業を目指す～

やまがた
れいわ next
アクション
News 年度末
増刊号



令和3年9月16日 朝日町
「第1回北部地区農業の未来を考え楽しく夢を語る座談会☆☆」

発行者:(一社)山形県農業会議
やまがた農業ファシリテーター研究会
(愛称:エンジョイ農学部)
発行日:令和 4年 3月 31日



山形県農業会議では、「やまがた地域の農地を活かし、担い手を応援する活動～れいわネクストアクション～」で、人・農地プランの話し合いや、農業者との意見交換会などを行う、**農業委員会の活動を伴走支援**しています!

令和3年度は、実際に現場の農業者のみなさんの話し合いに参加し、農業会議の薦めるMFAメソッドのファシリテーションのスキルを使った「**全員の意見が反映される話し合い**」を行いました。(延べ185名参加)

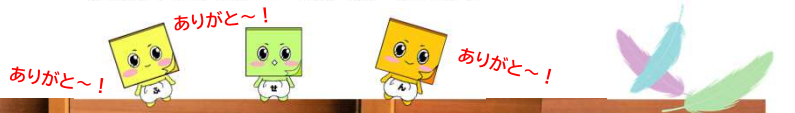
令和3年度は、たくさんの農業者の皆様と「気楽に・楽しく・中身濃い」話し合いを行うことができました!



令和3年11月2日 朝日町
「第2回北部地区農業の未来を考え楽しく夢を語る座談会☆☆」



令和3年10月26日 米沢市「農業者との意見交換会」



令和3年12月23日 朝日町「第1回 中部地区・西部地区合同農業の未来を考え楽しく夢を語る座談会☆☆」

皆さんからいただいた「アイデアの種」を活かして、 一緒にやまがたの農業の明るい未来を実現していきましょう！



令和4年1月13日 朝日町
「第2回西部地区農業の未来を考え
楽しく夢を語る座談会☆☆」



令和4年1月14日 朝日町
「第2回中部地区農業の未来を考え
楽しく夢を語る座談会☆☆」



この意見交換会は、MFA(会議ファシリテーター普及協会)の
話し合いのやり方で進みます

MFA(会議ファシリテーター普及協会)の
ファシリテーションとは？



釘山先生



小野寺先生

「全員が発言できる会議のテクニック」

=明るく・前向きな会議のテクニック=

ファシリテーターとは？=全員が発言できる会議の進行役

農業ファシリテーターとは？「まちづくり」についても学んだ人

朝日町では、実際に北部・中部・西部
地区の人・農地プラン実質化のための
話し合いの伴走支援を行いました。

計6回(各地区2回)の座談会が開催
され、参加者全員の夢実現型の意見が
反映された、人・農地プランが実質化
されました！

令和4年度からは、いよいよ、夢実現
型の意見が反映された、人・農地プラン
の実行に向けた取り組みがスタートし
ます！

朝日町のこれからは楽しみですね！

～農業ファシリテーターとは「地域に開かれた農業の推進を担う人」のこと～

農業の課題は農業者だけの解決は難しく、また、地域の課題も地域だけでは解決が難しくなっています。農業者と地域住民が一緒になって、夢を語り合い、課題解決に取り組んでいくために、ファシリテーターの対話のスキルだけでなく、地域づくりのスキルも学んだ人のことを「農業ファシリテーター」といいます。山形県では、現在17名が、農業ファシリテーターの資格を取得しています。

やまがたの人・農地プラン「実質化」そして「実行」へ・・・

他にも伴走支援のご依頼をいただいていた農業委員会がございましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、実現できませんでした。状況が好転した際には、またお声がけいただけるのをお待ちしております！

山形県農業会議では、「やまがた“地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る”活動～れいわネクストアクション～」で、農業ファシリテーターの養成等、農業委員会の活動を伴走支援しています！



詳しくは山形県農業会議HPをご覧ください <http://www.yca.or.jp/>